



	20	20,支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	当日のご利用者の確認、支援内容、目的や具体的な手立て、役割分担について、指導員全体で確認し、事務所に掲示しています。	
	21	21,支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	支援終了後に振り返りを行い、ご利用者一人一人の支援日誌に記録しています。その日勤務していなかった職員も、次回支援開始前に支援日誌を確認するようにしています。	
	22	22,日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.0%	0.0%	0.0%	ご利用者一人一人に対し、統一された記録方法を用いて支援計画の進捗がわかるように記録しています。	
	23	23,定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎回ご利用毎に保護者フィードバックを実施し、定期的にニーズ、現状の課題等をお聞きして分析を行い、計画の見直しを判断しています。	
	24	24,放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	66.7%	16.7%	16.7%	生活スキル、社会性スキルの向上を目的とした個別療育を基本としながら、製作活動等を組み合わせることで、基本活動を網羅できるよう配慮しています。	
	25	25,こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	日々の療育支援全般において、支援者の押し付けではなく、こどもの自己決定を重視した支援を心がけています。	
関係機関や保護者との連携	26	26,障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	児童発達支援管理責任者を中心として、その他にも最もふさわしい職員が参画しています。	
	27	27,地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.0%	0.0%	0.0%	自立支援協議会等で事業所間の連携の他、保護者を起点とした情報共有も必要に応じて実施しています。	
	28	28,学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83.3%	16.7%	0.0%	主に保護者を介して学校との連絡調整を行うことが多いです。行事予定等についてはHPも活用して情報の把握を行っています。	保護者のニーズに応じて、学校訪問等も実施して情報共有を行っています。
	29	29,就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	83.3%	16.7%	0.0%	児童発達支援も行う多機能型事業所であるため、継続ご利用の場合は切れ目のない情報共有が可能となっています。	
	30	30,学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16.7%	16.7%	66.7%		現在は学校卒業のケースがありません。今後卒業生が出る際には、情報提供を行います。
	31	31,地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	83.3%	16.7%	0.0%	過去には大阪市発達障がい者支援センター「エルムおおさか」の訪問支援研修を活用したり、センター主催の研修・講演会へ参加したりしています。	
	32	32,放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0.0%	83.3%	16.7%		ご家族のご意向をお聞きした結果、現在は積極的な実施をしておりません。今後もご家族のご意向を踏まえながら検討していく方針です。
	33	33,（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	大阪市淀川区自立支援協議会こども支援部会へ参画し、地域福祉の情報収集と共有に努めています。	
	34	34,日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎回のご利用毎に、おさまの状況についてお伝えし合い、おさまの発達の状況や課題について共通理解を深めています。	
	35	35,家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50.0%	33.3%	16.7%	都度のご利用毎に、具体的な支援方法やおさまの関わり方をアドバイスさせていただいています。	定型的なペアレントトレーニングプログラムは実施していないため、公的機関等のプログラムの募集がある際は情報提供していきます。
保護者への	36	36,運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時に、書面を用いてできる限り丁寧に説明を行っています。また、運営規程及び重要事項説明書を待合室に設置し、周知を図っております。	
	37	37,放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.0%	0.0%	0.0%	必ず保護者面談を対面で実施し、意向を確認しています。	
	38	38,「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100.0%	0.0%	0.0%	支援計画の内容を確認し同意いただき、署名いただいています。	
	39	39,家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	都度のご利用毎にお話を伺い、できる限り助言をさせていただいております。	
	40	40,父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	16.7%	66.7%	16.7%	事業責任者が親の会（大阪LD親の会）に参加し、情報収集／提供を行っています。	事業所が主催の保護者会等は実施していないため、今後ニーズを開き取りながら検討していきます。

説明責任等	41	41,子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	苦情受付担当者と解決責任者を設置し、体制を整備しております。また、その内容については利用契約時に説明を行うと共に教室入口に掲示し、周知を行っています。	
	42	42,定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	毎月会報を発行し、活動概要、行事予定、諸連絡事項を発信している他、重要な連絡については直接保護者様にお伝えしたり、教室入口に掲示したりして、周知を行っています。	
	43	43,個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	職員は雇用契約時に個人情報保護に関する誓約書の提出を行うとともに、情報保護に関する研修を受講しています。保護者様に対しては、契約時に個人情報の取り扱いについてご説明の上、同意書に署名を頂いています。	
	44	44,障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	視覚優位、聴覚優位などの特性を理解した上での情報伝達の方法に配慮をしています。重要事項説明書については、ルビ版・拡大文字版等も準備しています。	
	45	45,事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0.0%	83.3%	16.7%	学校園や相談支援員等の見学を積極的に受入れています。	
非常時等の対応	46	46,事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	マニュアルを策定し、教室事務所内に保管すると共に勉強会等の機会に職員への周知徹底を行っています。保護者様への周知については、利用契約時に契約事項と併せ、緊急時における対応方法のご説明を行っています。	
	47	47,業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.0%	0.0%	0.0%	BCPを策定し、年2回の防災訓練を行っています。防災訓練では職員、ご利用者、保護者全員で参加しています。	
	48	48,事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	初回面談時に確認して、記録を残しています。	
	49	49,食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83.3%	16.7%	0.0%	保護者への聞き取りによってアレルギーを把握し、書面に残して対応しています。	現在、医師の診断書が必要な生徒の利用はありませんが、今後必要に応じて対応を行って参ります。
	50	50,安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.0%	0.0%	0.0%	安全計画を策定し、研修と訓練を9月に実施しています。	
	51	51,子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.0%	0.0%	0.0%	契約時の面談で保護者に説明しています。	
	52	52,ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	発生したヒヤリハットについて、即刻ヒヤリハット報告書にまとめ、全職員確認の上、事例集として管理しています。	
	53	53,虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.0%	0.0%	0.0%	虐待防止委員会を設置し、年1回の虐待防止チェックリストを実施しています。また、児童虐待、施設内虐待、障害者虐待について定期的な勉強会を行っています。	
54	54,どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83.3%	0.0%	16.7%	利用契約時に、重要事項として説明を行っています。現在、具体的に身体拘束を必要とするご利用者はいない為、放課後等デイサービス計画への記載のケースはありません。		

※この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。